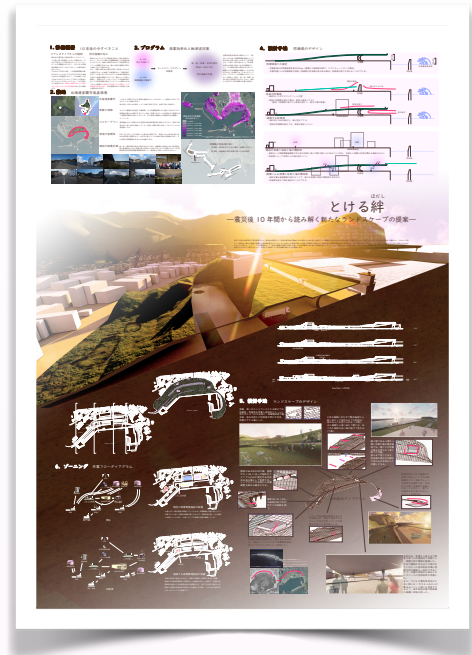


【審査員賞】【平林 英二 選】

No.12 「とける絆(ほだし) -震災後10年間から読み解く 新たなランドスケープの提案-」 麻生香実 / 北海学園大学工学部4年

受賞コメント

この度は本提案を選んでいただき誠にありがとうございます。コンペに参加し他の参加者の提案を拝見し、設計のアイデアコンペではなかなか見られないリアリティのある提案や、豊かな発想の提案とたくさん出会うことができ、とても勉強になりました。また二次審査の際には建築の視点からではなく、実際に減災を研究しお仕事にされている方々からご講評をいただいたことが私にとって大きな糧となりました。ありがとうございました。



評価コメント

上下が狭く奥行の長い空間を波状的波が襲うと、引き波と寄せ波が衝突し、上部構造物が破壊されるのでは。（相良）

実際に日本社会で起きた、東日本大震災からの復旧政策における防潮堤のあり方にストレートな疑問を投げかけ、またその解決策として斬新かつ壮大な構想を描いた。ジャストアイデアに留まらず、海岸沿いの地方の街の諸課題を多面的に見つめ総括的な構想の中で多くをより良く改善していく策で満たしている。政治を含めた街全体の構想が故、実際に実現に動くかどうかという点では一人の若いプランナーの立場としては微力で、なかなか難しいかもしれない。が、こうした、社会の課題解決に向けた探究とアグレッシブなプランニングワークに、プランナーが時間を費やすことは大きな意義・価値があると思う。（平林）